

第 70 回日本救急医学会関東地方会幹事会

2020 年 1 月 18 日（土）12 : 00～13 : 00

会場：前橋商工会議所会館 2 階 サクラ（第 7 会場）

議事録署名人の確認

武田常任幹事長

新幹事推薦（資料①）

報告事項

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| 1. 庶務報告（資料②） | 河野常任幹事 |
| 2. 各常任幹事担当報告 | |
| ①看護部会（資料③） | 佐藤常任幹事 |
| ②救急隊員部会・関東地方 MC 検討委員会（資料④） | 畝本常任幹事 |
| ③SOS-KANTO 委員会・多施設研究検討委員会（資料⑤） | 中田常任幹事 |
| ④関東地方災害医療検討委員会（資料⑥） | 河野常任幹事 |
| ⑤編集委員会（資料⑦） | 井上常任幹事 |
| ⑥ホームページ（資料⑧） | 井上常任幹事 |
| 3. 第 70 回日本救急医学会関東地方会報告 | 中野会長 |
| 4. 第 71 回日本救急医学会関東地方会
準備状況報告（資料⑨） | 山口次期会長 |

審議事項

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 2019 年度決算報告（資料⑩） | 河野常任幹事 |
| 2. 2020 年度予算について（資料⑪） | 河野常任幹事 |
| 3. 次々期会長について | 武田常任幹事長 |
| 4. その他（資料⑫） | 武田常任幹事長 |

新幹事候補者リスト						
	新幹事候補者名	所属	出身大学/最終学歴	卒業年	資格	特記事項等
1	いまむら ともりの 今村 友典	一般財団法人自警会東京警察病院 救急科	防衛医科大学校	平成17年	有	
推薦者：金井尚之(東京警察病院 救急科)、佐々木亮(国立国際医療研究センター病院救急科) 入会日：平成28年10月21日						
2	うえだ よしひろ 上田 吉宏	東京大学医学部附属病院 救急科	東京大学医学部	平成14年	有	
推薦者：森村尚登(東京大学医学部附属病院 救急科学教室)、軍神正隆(虎の門病院救急科) 入会日：平成28年10月31日						
3	ひるま たかひろ 比留間 孝広	東京大学医学部附属病院 救急科学教室	東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻救急医学講座 医学博士課程	平成27年	有	
推薦者：森村尚登(東京大学医学部附属病院 救急科学教室)、軍神正隆(虎の門病院救急科) 入会日：平成28年12月5日						
4	もりた せいじ 守田 誠司	東海大学医学部 救命救急医学	東海大学医学部	平成11年	有	
推薦者：中川徹英(東海大学医学部)、若井慎二郎(東海大学医学部) 入会日：平成24年1月30日						
5	しんじょう たかふみ 新庄 貴文	自治医科大学 救急医学／附属病院救命救急センター	産業医科大学医学部	平成18年	有	
推薦者：間藤卓(自治医科大学 救急医学)、谷島 雅子(自治医科大学附属病院救命救急センター) 入会日：平成26年1月9日						
6	まわり たかゆき 馬渡 貴之	日本大学病院 救急科	日本大学医学部医学科	平成22年	有	
推薦者：櫻井淳(日本大学病院救命救急センター)、千葉宣孝(日本大学病院救命救急センター) 入会日：平成27年2月7日						
7	うちだ こうたろう 内田 康太郎	東京医科大学 救急・災害医学分野	東京医科大学	平成14年	有	
推薦者：本間宙(東京医科大学 救急・災害医学分野)、織田順(東京医科大学 救急・災害医学分野) 入会日：平成15年						
8	すぎもと たまき 杉本 環	日本大学板橋病院 医療安全管理室	日本看護協会看護研修学校	平成25年	有	
推薦者：浅香えみ子(獨協医科大学埼玉医療センター)、木澤晃代(日本大学病院) 入会日：平成26年2月1日						
9	うえまつ さとこ 植松 悟子	国立成育医療研究センター 救急診療科	北里大学医学部	平成5年	有	
推薦者：守谷俊(自治医科大学附属さいたま医療センター)、柏浦正広(自治医科大学附属さいたま医療センター) 入会日：平成24年3月29日						
10	おおの たかのり 大野 孝則	昭和大学藤が丘病院 救命救急科	奈良県立医科大学医学科	平成16年	有	
推薦者：林宗貴(昭和大学藤が丘病院救急医学科)、佐々木純(昭和大学藤が丘病院救急医学科) 入会日：平成28年2月10日						
11	みやくに やすひこ 宮国 泰彦	杏林大学医学部救急医学教室	杏林大学医学部	平成18年	有	
推薦者：山口芳裕(杏林大学医学部救急医学)、加藤聡一郎(杏林大学医学部救急医学) 入会日：平成21年2月24日						
12	たていし よしひさ 立石 順久	成田赤十字病院救急・集中治療科	千葉大学大学院医学薬学府 博士課程先端生命科学専攻 救急集中治療医学	平成19年	有	
推薦者：北村伸哉(君津中央病院救命救急センター)、中田孝明(千葉大学大学院医学研究科救急集中治療医学) 入会日：平成19年2月3日						
13	いのうえ よしたか 井上 孝隆	杏林大学保健学部 救急救命学科	杏林大学大学院医学研究科 博士(医学)	平成29年	有	
推薦者：山田賢治(杏林大学保健学部 救急救命学科)、山口芳裕(杏林大学医学部救急医学) 入会日：平成29年1月12日						

2019 年度 庶務報告

(2019 年 12 月 31 日現在)

総会員数 :	1160 名	(新会員 159 名)
幹事	330 名	(新幹事*1 16 名)
名誉	44 名	(新名誉会員 3 名)
一般 (医師)	567 名	(新会員 96 名)
一般 (看護師)	180 名	(新会員 57 名)
一般 (救急救命士)	19 名	(新会員 3 名)
一般 (その他・不明)	20 名	(新会員 3 名)

*12019 年 2 月 幹事会承認

退会者数 : 141 名 (うち 109 名は会費滞納による自然退会)

名誉	0 名
幹事	9 名
一般 (医師)	87 名
一般 (看護師)	43 名
一般 (救急救命士)	2 名
一般 (その他)	0 名

看護部会報告

令和2年1月18日
看護部会担当常任幹事
佐藤 憲明

1. 2019 年会議開催報告

①看護部会運営委員会 3回開催

第1回看護部会運営委員会：2月2日（土）つくば国際会議場

第2回看護部会運営委員会：6月5日（水）獨協医科大学埼玉医療センター

第3回看護部会運営委員会：11月10日（日）日本大学病院

②看護部会施設代表者会 1回開催

2月2日（土）つくば国際会議場

2. 看護部会シンポジウムについて

第2回 日本救急医学会関東地方会看護部会主催シンポジウム

「患者安全につなげる臨床推論」

令和元年11月10日（日）10:00-13:00 日本大学病院 5階大会議室

講師・スタッフ：12名 参加者44名

以上

平成 31 年 12 月 27 日

全国消防長会関東支部
消防機関 各位

日本救急医学会関東地方会
常任幹事長 武田宗和
担当常任幹事 畝本恭子

関東地方メディカルコントロール協議会連絡会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来る 2020 年 1 月 18 日第 6 回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会を開催する運びとなりました。今回のテーマは、「脳卒中循環器病対策基本法の制定を踏まえた病院前脳卒中救護の現状と展望」です。脳卒中は、適応のある傷病者を、適切な治療ができる施設で、可及的速やかに治療開始することで、完全回復も期待できる疾患です。病院前の選定・搬送時間・処置なども影響するため、同法の第 13 条の 2 では、国および地方公共団体に対し、救命救急士・救急隊員の研修などの施策の必要性を挙げています。この問題に取り組んでいる地域 MC の情報交換を行うことは救急関係者にとって有益と考えます。

つきましては、第 6 回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会に、貴消防機関職員の皆様にもご出席いただき、意見交換にご参加いただければと考えております。職員の皆様に、ご通知いただければ幸いです。

なにとぞご協力をお願い申し上げます。なお、参加者への交通費等の提供は予定しておりません。

敬具

記

第 6 回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会

日 時：令和 2 年 1 月 18 日（土）16:30～17:30

会 場：ベイシア文化ホール 1F 大ホール

JR 前橋駅より「県民会館」方面行きバス約 10 分（または徒歩 20 分）

主 催：日本救急医学会関東地方会

テーマ：脳卒中循環器病対策基本法の制定を踏まえた病院前脳卒中救護の現状と展望

コメンテーター：

日本医科大学高度救命救急センター教授 横田裕行

司 会：日本救急医学会関東地方会常任幹事長 武田宗和

日本救急医学会関東地方会救急隊員部会担当常任幹事 畝本恭子

演 者：公益財団法人 脳血管研究所三原記念病院副院長 谷崎義生

前橋市消防局警防課付高度救命担当係長 勝守高之

東京消防庁救急医務課救急医務係長 渡邊俊悦

SOS-KANTO 委員会報告

令和2年1月18日

SOS-KANTO 担当常任幹事 中田 孝明

1. 会議開催報告

① 運営委員会 (SOS-KANTO2017) 開催なし

② 全体会議 (SOS-KANTO2017)

2020年1月18日(土) 16:35～ 開催予定

(第7会場(商工会議所 2階 サクラ))

2. SOS-KANTO 2017 について

参加施設数：46件*、採用PICO数：64件、症例登録数599例(令和2年1月現在)

※参加46施設中、症例未登録施設27施設

参考：SOS-KANTO2002 2002年9月～2003年12月末(16ヶ月) 58施設 9592症例

SOS KANTO2012 2012年1月～2014年3月(15ヶ月) 68施設 16452症例

- ・2019年9月9日より症例登録が開始できる運になったが、入力システムの不具合により、症例登録数が伸び悩んでいる。不具合をお詫びするとともに、今後とも症例登録促進をお願いする次第である。
- ・登録開始遅延のため、当初の症例登録期間を延長し、2020年9月8日までとする。それに伴い、研究計画書(作成第3版)として参加施設に配布した。
- ・HPを改訂し、研究計画等の資料をダウンロード可能とし、WEB入力システムの不具合の問い合わせ先を掲載した。

以上

関東災害医療連絡会議のご案内 (川崎事例報告会)

日本救急医学会関東地方会 関東地方災害医療対応検討委員会

東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、関東地方の救急医療関係者にとって多数傷病者事案への対応準備は喫緊の課題です。当委員会では2019年5月に発生した川崎市多数傷病者発生事例に関する災害医療の状況を検証する機会を得ました。

本事例を情報共有するために、表記会議を開催いたしますのでご案内申し上げます。会議は公開ですので参加に制限はありません。学術集会参加者ならばどなたでもご参加いただけます。関係各方面へのご周知よろしくお願い申し上げます。

記

開催日時:2020年1月18日(土)15時30分～16時30分

第70回日本救急医学会関東地方会学術集会/第57回救急隊員学術研究会 内

開催場所:ベシシア文化ホール1F大ホール(学術集会第1会場)

演者:川崎市消防局警防部

間宮雄二郎救急課長

聖マリアンナ医科大学救命救急センター主任医長

下澤信彦 先生

川崎市MC協議会会長(日本医科大学武蔵小杉病院)

松田潔 先生

杏林大学医学部救急医学

加藤聡一郎 先生

司会進行:関東地方災害医療対応検討委員会担当常任幹事

河野元嗣

『日本救急医学会関東地方会雑誌』制作報告

2020年1月18日
編集担当常任幹事 井上貴昭

1) 論文投稿数

全投稿数：53編〔医師部会：42編，看護部会：9編，救急隊員学術研究会：2編〕
（うち4編は2019年学会発表論文以外）

	件数	備考
2019年 学会全発表数	261件 (医師部会：184件，看護部会：34件， 救急隊員学術研究会：43件)	投稿率：18.8%
辞退・未着	212編	
2019年 発表論文投稿数	49編 (医師部会：38編，看護部会：9編， 救急隊員学術研究会：2編)	

【参考：投稿率の推移について】

	2013年 34巻	2014年 35巻	2015年 36巻	2016年 37巻	2017年 38巻	2018年 39巻	2019年 40巻
学会発表 数	287	254	251	295	224	270	261
辞退・未着	195	162	176	208	166	224	212
投稿数	91	68	75	87	58	46	49
投稿率	31.5%	26.8%	29.9%	29.5%	25.8%	17.0%	18.8%

2) 掲載論文数

	40巻2号 (6月)	40巻3号 (12月)	41巻2号 (3月，予定)	査読継続
掲載 論文数	6	5	27*	15
内訳	医師部会：5 看護部会：1 救急隊員：0	医師部会：5 看護部会：0 救急隊員：0	医師部会：22 看護部会：3 救急隊員：2	医師部会：10 看護部会：5 救急隊員：0

※2020年1月9日時点での採用数

3) 編集スケジュール

2月2日	日本救急医学会関東地方会学術集会，論文投稿受付開始
2月下旬	論文投稿依頼（文書送付，4月5日締切）
4月19日	編集委員会開催*
5月下旬	論文投稿再依頼（文書送付，7月12日締切）
6月末	40巻2号刊行
12月末	40巻3号刊行
2020年3月末	41巻2号刊行予定

*6月末，12月末，翌年の3月末に発刊（J-STAGE 搭載）することを決定

以上

日本救急医学会関東地方会ホームページ報告

令和2年1月18日

ホームページ担当常任幹事 井上 貴昭

1. ホームページ更新情報について ※関連学会案内の更新については省略

【2019年1月】

- ・39巻2号公開のご案内を掲載しました。(19.1.25)

【2019年2月】

- ・新着情報, 学術集会, 役員一覧, 幹事名簿を更新しました。(19.2.4)
- ・学術集会を更新しました。(19.2.18)
- ・SOS-KANTOを更新しました。(19.2.25)

【2019年3月】

- ・J-STAGEのメンテナンス予定について更新しました。(19.3.4)
- ・SOS-KANTO2017参加施設一覧を更新しました。(19.3.13)
- ・SOS-KANTOを更新しました。(19.3.28)

【2019年4月】

- ・SOS-KANTOを更新しました。(19.4.9)

【2019年5月】

- ・第70回学術集会のHPが公開されました。(19.5.20)

【2019年7月】

- ・投稿規程を更新しました。(19.7.24)

【2019年8月】

- ・入会案内、各種申請書式を更新、『日本救急医学会関東地方会雑誌』40巻2号公開のお知らせ、入会について、を掲示しました。(19.8.6)

【2019年9月】

- ・SOS-KANTOを更新しました。(19.9.10)
- ・第2回看護部会シンポジウムのご案内を掲載しました。関連学会案内を更新しました。(19.9.26)

【2019年11月】

- ・第2回看護部会シンポジウム終了について掲載(19.11.11)

【2019年12月】

- ・SOS-KANTOを更新しました。(19.12.10)

以上

第 71 回日本救急医学会関東地方会学術集会
第 58 回救急隊員学術研究会

会 期：2021 年 2 月 3 日(水) ※同日開催
会 場：京王プラザホテル
〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1
会 長：山口 芳裕 (杏林大学医学部救急医学)
運営事務局：株式会社ハレ
〒251-0027 神奈川県藤沢市鶴沼桜が岡 3-13-11-3
TEL：0466-21-9430
FAX：050-3737-7890
事 務 局：杏林大学医学部救急医学
運営担当：海田賢彦 学術担当：井上孝隆
〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2
TEL：0422-42-5005 (学会直通)
FAX：0422-42-4866
E-mail：jaam71kantou@ks.kyorin-u.ac.jp
テ ー マ：「反時代的」救急の正論



「反時代的」救急の正論

第71回日本救急医学会関東地方会学術集会
第58回救急隊員学術研究会

令和3年2月3日(水)

京王プラザホテル(新宿)

山口 芳裕(杏林大学医学部救急医学)

日本救急医学会関東地方会 2019年度決算報告書
(2019年1月1日～12月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
会費収入	6,400,000	6,345,000	△ 55,000	幹事：10,000円・一般：5,000円
当年度・過年度収入		6,300,000		
前受会費収入		45,000		
雑収入	500,010	1,979,189	1,479,179	
広告掲載料	0	0	0	
銀行預金利息	10	16	6	
地方会補助金	200,000	200,000	0	日本救急医学会
その他(1)	50,000	34,500	△ 15,500	39巻2号～別刷代
その他(2)	250,000	132,000	△ 118,000	看護部会シンポジウム参加費
その他(3)	0	1,612,673	1,612,673	第69回学術集会余剰金
収入合計	6,900,010	8,324,189	1,424,179	

【支出の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
事業費	5,180,000	4,824,244	355,756	
刊行費(発送費を含む)	2,000,000	2,119,353	△ 119,353	39巻2,3号,40巻2号製作費
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	0	前橋赤十字病院
会議費	100,000	90,803	9,197	
常任幹事会		65,654		年2回開催
編集委員会		2,760		年1回開催
会計監査		0		年1回開催
看護部会運営委員会		22,389		年2回開催
交通費	150,000	141,905	8,095	
常任幹事会		51,000		
編集委員会		28,000		
事務局		12,305		学術総会, 諸会議立ち会い
会計監査		4,000		
看護部会運営委員会		42,000		
その他		4,600		諸会議委員・担当常任幹事立ち会い
SOS-KANTO	300,000	0	300,000	
会議費		0		
交通費		0		
看護部会シンポジウム	250,000	100,560	149,440	
会議費		560		講師諸経費
交通費		100,000		看護部会シンポジウム
印刷費	180,000	171,623	8,377	事務局コピー代
ホームページ運営費	0	0	0	UMIN利用
事務費	1,511,600	1,510,702	898	
通信費	300,000	347,496	△ 47,496	
切手代		9,538		
宅配便代		16,286		
その他発送費		321,672		別納郵便
業務委託費	1,101,600	1,106,700	△ 5,100	委託先：株へるす出版事業部 ※差額は消費税差額
消耗品費	100,000	49,334	50,666	事務用品費、封筒作成費
振込手数料	10,000	7,172	2,828	
予備費	50,000	0	50,000	
支出合計	6,741,600	6,334,946	406,654	
収支	158,410	1,989,243		
前年度(2018年)繰越金	6,581,306	6,581,306		
次年度(2020年)繰越金	6,739,716	8,570,549		

銀行口座残高	¥2,807,939
郵便口座残高	¥5,762,610
小口現金残高	¥0
合計	¥8,570,549

監査報告書

日本救急医学会関東地方会の2019年度(2019年1月1日～2019年12月31日)における収支計算書、およびそれに付随する諸帳簿について必要な監査手続きを実施した結果、2019年度の経営状況を適正に表現しており、かつ会計手続きに不正のないことを認める。

以上

2020年1月7日

日本救急医学会関東地方会

監事 松田 潔 

監事 三宅 康史 

日本救急医学会関東地方会 2020年度予算(案)
(2020年1月1日～12月31日)

【収入の部】

科目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算
会費収入	6,400,000	6,345,000	6,400,000
雑収入			
銀行預金利息	10	16	10
補助金	200,000	200,000	200,000
その他(1)	50,000	34,500	50,000
その他(2)	250,000	132,000	200,000
その他(3)	0	1,612,673	0
収入合計	6,900,010	8,324,189	6,850,010

【支出の部】

科目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算
事業費			
刊行費(発送費を含む)	2,000,000	2,119,353	2,200,000
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	2,200,000
会議費	100,000	90,803	100,000
交通費	150,000	141,905	150,000
印刷費	180,000	171,623	180,000
SOS-KANTO	300,000	0	300,000
看護部会シンポ	250,000	100,560	200,000
HP運営費	0	0	0
事務費			
通信費	300,000	347,496	250,000
業務委託費	1,101,600	1,106,700	1,122,000
消耗品費	100,000	49,334	50,000
振込手数料	10,000	7,172	10,000
予備費	50,000	0	50,000
支出合計	6,741,600	6,334,946	6,812,000
収支	158,410	1,989,243	38,010
前年度繰越金	6,581,306	6,581,306	8,570,549
次年度繰越金	6,739,716	8,570,549	8,608,559

令和2年1月5日

日本救急医学会関東地方会
常任幹事長 武田宗和 先生

神奈川県救急科医会
当番世話人 竹内一郎



関連学術団体公認願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴会会則では、以下のように貴会の目的、事業が規定されています。

第2章 目的および事業

(目的) 第3条

本会は、関東地方の救急医学の進歩発展を図り、救急医学の普及に貢献することを目的とする。

(事業) 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催
- (2) 機関誌の刊行
- (3) 内外関連学術団体との連絡および協力
- (4) その他の必要な事業

本会（神奈川県救急科医会）は2018年11月に発会した神奈川県内の救急科医師を主な構成員とする学術団体です。本会会員の多くが日本救急医学会、日本救急医学会関東地方会に所属しています。本会は神奈川県の救急科医師を代表する唯一の学術団体であると自負しております。

本会のさらなる発展を期して、神奈川医学会（神奈川県医師会）分科会に加盟することを検討していますが、加盟には日本医学会分科会として加盟している医学会が認める学術団体であることが必要になります。日本医学会分科会の一員である日本救急医学会の地方会である貴会から本会を神奈川県の救急科医師を代表する学術団体であり、貴会の関連学術団体であると公認していただければと、本会の神奈川医学会への分科会としての加盟が認められると見込まれます。

なにとぞ、本会を貴会の関連学術団体として公認していただきますようお願い申し上げます。本会の会則、役員名簿、会員名簿、学術集会プログラムを参考資料として添えさせていただきます。

敬具